「日本史B」 シラバス

日本史B	単　位　数	3単位
	学科・学年	普通科　3学年

1　学習の到達目標等

学習の到達目標	1．日本の通史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化の過程を理解する。 2．歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。 3．日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。
使用教科書・副教材等	山川出版社　詳説日本史B 帝国書院　図説　日本史通覧

2　学習計画及び評価方法等

（1）　学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい・目標	備　考 学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動との関連など	考査範囲
第1学期	第2部　中世 第4章　中世社会の成立 3．武士の社会 4．蒙古襲来と幕府の衰退 5．鎌倉文化 第5章　武家社会の成長 1．室町幕府の成立 2．幕府の衰退と庶民の台頭 3．室町文化 4．戦国大名の登場	4	・執権政治の確立について考察させる。 ・蒙古襲来が鎌倉幕府の衰退につながっていくことを理解させる。 ・鎌倉仏教について特徴を理解させる。 ・南北朝の動乱から室町幕府の成立について考察させる。 ・下剋上の風潮について考察させる。 ・北山文化・東山文化について特徴を理解させる。 ・戦国大名の台頭について考察させる。	・第4章については「世界史B」のモンゴル帝国（元）の発展と関連させて取り扱う。	第1学期中間考査・期末考査
	第3部　近世 第6章　幕藩体制の確立 1．織豊政権 2．桃山文化 3．幕藩体制の成立	5	・大航海時代とは何か考えさせる。 ・織田信長の天下統一政策の特徴をとらえさせる。 ・豊臣秀吉の天下統一政策の特徴をとらえさせる。 ・豊臣政権の朝鮮侵略などの意味を考えさせる。 ・桃山文化の特徴を理解させる。 ・徳川家康の政権樹立過程をとらえさせる。 ・徳川幕藩体制の特徴を理解させる。	・第6章の大航海時代の学習については「世界史B」のヨーロッパの世界進出の学習と関連させて取り扱う。キリスト教の学習に当っては、現代社会や倫理の学習内容と関連させて学習する。 ・第6章の秀吉の対外政策の学習にあたっては「世界史B」の東アジアの学習と関連させて学習する。	
	第7章　幕藩体制の展開 1．幕政の安定 2．経済の発展 3．元禄文化	6	・武士と百姓の関係を考えさせる。 ・徳川幕府の貿易政策と宗教政策の特徴を理解させる。 ・赤穂浪士はなぜ処罰されたのか考えさせる。 ・民衆はどのように生産を高めたのか考えさせる。 ・流通の発展の特徴をとらえさせる。 ・町人文化はなぜ発展したのか考えさせる。		
	第8章　幕藩体制の動揺 1．幕政の改革 2．幕府の衰退 3．化政文化	7	・徳川吉宗の政策の特徴を理解させる。 ・百姓一揆や打ちこわしの背景を理解させる。 ・国学や蘭学が誕生した背景と特徴を考えさせる。 ・文化・文政時代の文化の特徴を理解させる。	・第8章、蘭学の学習にあたっては、「世界史B]のオランダの歴史の学習と関連させて学習する。第9章の開国の学習や明治維新の学習にあたっては、政経の資本主義の成立や産業革命、市民革命の動きの学習と関連させて学習する。また、「世界史B」の欧米列強の世界進出とも関連させて学習する。	
	【課題・提出物等】	レポート，ワークシート，課題プリントなどを提出			
	【第1学期の評価方法】	考査評価，課題追究学習，課題プリントへの取り組み状況などを総合的に評価			

学期	学習内容	月	学習のねらい・目標	備　考 学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動との関連など	考査範囲
第2学期	第4部　近代・現代 第9章　近代国家の成立 1. 開国と幕末の動乱 2. 明治維新と富国強兵 3. 立憲国家の成立と日清戦争 4. 日露戦争と国際関係 5. 近代産業の発展 6. 近代文化の発達 第10章　近代日本とアジア 1. 第一次世界大戦と日本 2. ワシントン体制 3. 市民文化 4. 恐慌の時代 5. 軍部の台頭 6. 第二次世界大戦 第11章　占領下の日本 1. 占領と改革 2. 冷戦の開始と講和	9 10 11 12	・外国船が日本に何を求めてきたか考えさせる。 ・天保の改革はなぜ失敗したのかを考えさせる。 ・ペリー来航による日本社会への影響を考えさせる。 ・開国がもたらした日本社会の変化を理解させる。 ・討幕運動の展開過程を理解させる。 ・新政府の基本政策の特徴を考えさせる。 ・文明開化は暮らしをどう変えたか考えさせる。 ・新政府は民衆の支持を受けたのか考えさせる。 ・新政府の対外政策の特徴を理解させる。 ・自由民権運動は動広まったのか考えさせる。 ・国民が求めた憲法とは何か考えさせる。 ・松方デフレ政策がもたらしたものを考えさせる。 ・明治憲法の制定過程と内容の特徴をとらえさせる。 ・日本が欧米列強のような植民地主義をとっていく過程を考えさせる。 ・産業革命は何をもたらしたのか考えさせる。 ・日露戦争の性格と特徴を考えさせる。 ・近代文化の特徴を理解させる。 ・朝鮮の植民地化の過程と意味を考えさせる。 ・大正デモクラシーの特徴を考えさせる。 ・第1次世界大戦に日本がなぜ参戦したのか考えさせる。 ・朝鮮や中国から日本への批判が強められてのはなぜか考えさせる。 ・財閥が生まれた背景をとらえさせる。 ・社会運動の昂揚の意味を考えさせる。 ・民衆文化が発展したことを理解させる。 ・大正デモクラシーの限界を考えさせる。 ・軍縮政策から軍拡政策になぜ展開していったかを考えさせる。 ・日本軍は中国で何をしたか考えさせる。 ・国民が戦争に総動員されていく過程を理解させる。 ・戦争は文化を動圧迫したかをとらえさせる。 ・「大東亜共栄圏」とはどのようなものか考えさせる。 ・15年戦争は何をもたらしたのか考えさせる。敗戦の意味を考えさせる。 ・占領政治の特徴を理解させる。 ・新憲法を生み出した力は何か考えさせる。 ・民主化政策の転換の背景を考えさせる。 ・朝鮮戦争で日本はどう変わったのか理解させる。 ・日本の「独立」過程の特徴を考えさせる。	・第9章の新政府の対外政策や日清戦争の学習に当っては「世界史B」の東アジアの学習に関連させて扱う。日露戦争や第1次世界大戦の学習についても「世界史B」の学習と関連させて取り扱う。 ・第10章の第2次世界大戦の学習にあたっては「世界史B」の第2次世界大戦の学習に関連させて取り扱う。 ・第11章の戦後の学習にあたっては、政経の国際連合の学習に関連させて取り扱う。また戦後史は世界史と深く関連して学習することが望ましい。	第2学期中間考査・期末考査
	【課題・提出物等】	レポート，ワークシート，課題プリントなどを提出			
	【第2学期の評価方法】	考査評価，課題追究学習，課題プリントへの取り組み状況などを総合的に評価			

学期	学習内容	月	学習のねらい・目標	備　考 学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動との関連など	考査範囲
第３学期	第12章　高度成長の時代 １．55年体制 ２．経済復興から高度成長へ 第13章　激動する世界と日本 １．経済大国への道 ２．冷戦終結と日本社会の動揺	1 2	・新安保反対運動はなぜおこったのか考えさせる。 ・高度経済成長の光と影を理解させる。 ・沖縄から戦後を考えてみる。 ・高度成長がなぜ終わりその後どうなったか考えさせる。 ・経済大国化がもたらしたものをとらえさせる。 ・湾岸戦争がもたらした変化を考えさせる。 ・バブル経済の特徴を考えさせる。 ・地球時代の日本について考えさせる。		第３学期期末考査
	【課題・提出物等】	レポート，ワークシート，課題プリントなどを提出			
	【第3学期の評価方法】	考査評価，課題追究学習，課題プリントへの取り組み状況などを総合的に評価			
【年間の学習状況の評価方法】		各学期評価の平均〔（一学期評価＋二学期評価＋三学期評価）÷３〕			